

平成22年度

第2回 三次市地域公共交通会議資料

平成22年9月8日

三次市地域公共交通会議



もくじ

1 報告事項

- (1) 平成 2 2 年度地域公共交通活性化・再生総合事業補助金の交付決定について
- (2) 平成 2 2 年度三次市地域公共交通総合連携計画事業調査等委託業務について
- (3) 市街地循環バス活性化検討会議（分科会）の経過報告について
 - ア．「愛称」・「車体ラッピングデザイン」の審査結果について
 - イ．「市街地循環バス」,「畠敷線」について
 - ウ．周知・広報計画について
- (4) 作木町自家用有償旅客運送検討会議（ワーキング会議）の開催について

2 協議事項

- (1) 路線バスの変更並びに廃止（案）について
 - ア．(株)中国バス運行路線「田総の里西・太郎丸・上下駅前」他について
 - イ．備北交通(株)運行路線「赤名線」について
- (2) 三次市民バスの一部変更（案）について
 - ア．吉舎町線 A コースの一部ダイヤ変更について

3 その他

- (1) 鉄軌道に関する取り組みについて
 - ア．芸備線対策協議会「平成 2 2 年度県立大学地域課題解決研究」について
 - イ．三江線活性化協議会の取組み状況について

1 報告事項

(1) 平成 22 年度地域公共交通活性化・再生総合事業補助金の交付決定について

平成 22 年 6 月 10 日付け「中国自一第 184 - 3 号」で補助金交付決定がありました。

補助対象経費 12,892,259 円

補助金の額 6,443,000 円

(2) 平成 22 年度 三次市地域公共交通総合連携計画事業調査等委託業務について

平成 22 年度委託業務の内容を次のとおりとし、(株)地域未来研究所中国四国事務所と契約しました。

名 称	単 位	数 量	備 考
■調査計画等準備	式	1.0	
■市街地循環バスの実証運行支援	式	1.0	
運行計画策定等，実証運行に向けた各種準備			
周知及び利用促進に係る広報チラシ作成			
周知及び利用促進に係る広報ポスター等作成			
実証運行の検証・効果の分析 等			
■三次市民バスの再編支援	式	1.0	
平準化に向けた再編・調整			
利用促進に資する時刻表の作成			
■市民タクシーの導入支援	式	1.0	
新しい制度設計支援			
周知，利用促進に係る広報チラシ作成 等			
■路線バスの利用環境改善支援	式	1.0	
三次市民バス等との連絡性向上検討			
同上広報ツール作成			
利用促進に向けた検討 等			
■報告書作成	式	1.0	
報告書の作成			
ダイジェスト版の作成			
■その他の項目	式	1.0	
その他			

委託額 5,816,000 円 (税込み)

委託期間 平成 22 年 6 月 14 日 ~ 平成 23 年 3 月 31 日

(3) 市街地循環バス活性化検討会議（分科会）の経過報告について

平成22年8月5日（木）三次コミュニティーセンターにて「市街地循環バス活性化検討会議」を開催し、次のことについて協議・確認されました。

ア. 「愛称」、「車体ラッピングデザイン」の審査結果について

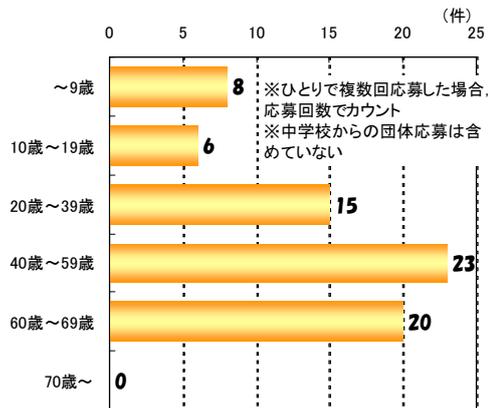
公募方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 募集告知と応募用紙を兼ねた「チラシ」を市広報6月号と一緒に各世帯へ配布 ・ 市ホームページでも応募用紙のダウンロード可能 ・ 中国新聞に掲載
応募の資格	資格制限なし（誰でも応募可能）
応募の期間	6月初旬～7月16日

応募総数	154人	「愛称」の応募	156件
応募件数	180件	「車体ラッピングデザイン」の応募	147件

【愛称の決定】 「くるるん」

三次市街地を循環することを、子どもたちから高齢の方まで誰もが理解できるように、「くるくる周るバス」やこちらの方言でもある「来る」と言う響き、さらに楽しい気分「ルルルン」って感じを組み合わせ、簡単に愛嬌のあるネーミングとして「くるるん」と名づけました。

シンプルで愛嬌が感じられ、みんなが親しめる。
三次では「来るん？行くん？」という方言がある。
循環をイメージさせてくれる。



年齢別の応募件数（中学校からの団体応募を除く）

【車体ラッピングデザインの決定】

三次市の花と樹の「もみじ」と「さくら」を擬人化して、みんなに愛されるキャラクターを作成しました。



応募作品を基に、修正を行っています。

車体色は、クリームがかった黄色を提案されていましたが、より目立つ黄色とすることが決定されました。

【ロゴデザインの作成】

市街地循環バス「くるるん」の運行開始にともない、今後の IC サイン戦略として次のとおりロゴデザインを作成しています。



イ. 「市街地循環バス」, 「島敷線」について

路線図 別紙資料1のとおり

(平成22年8月6日付け「市街地循環バス活性化検討会議の協議合意事項について(通知)」で事前連絡)

時刻表 別紙資料2のとおり

運賃 市街地循環バス 1乗車200円(高校生以下100円, 6歳未満無料)
島敷線 別紙資料3のとおり

ウ. 周知・広報計画について

「愛称」, 「車体ラッピングデザイン」の決定を受け, 別紙資料4のとおり, 10月2日(土)の開
設に向けて, 周知・広報の準備を進めます。

記念回数券の作成・販売

- 2,000円の専用乗車券 販売: 1,000円(1,000円のプレミア)
大人用と高校生以下用(500円: 10枚綴り)の2種類作成
他の路線での使用は不可(認可運賃の関係上)

(4) 作木町自家用有償旅客運送検討会議（ワーキング会議）の開催について

平成22年7月29日（木）作木支所において、平成23年度の町域の交通体系の再編についてワーキング会議を開催し、協議検討の結果、今後の取組み等について確認されました。

（参加者）

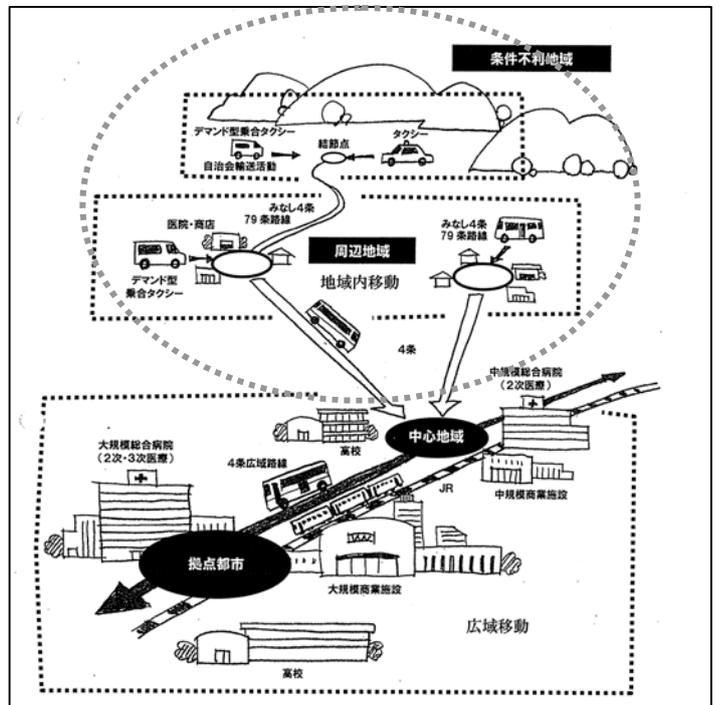
- ・作木町自治連合会 上・中・下地区連絡協議会
- ・NPOさくぎ振興会
- ・三次市作木支所、三次市地域振興課 計10名

（協議内容）

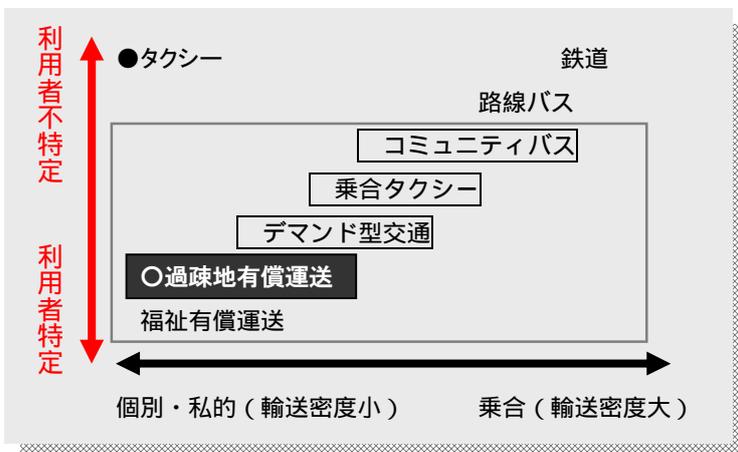
新たな生活交通システム「自家用有償旅客運送」について
 三次市における地域公共交通体系（サービス全体像）
 作木町域における新生活交通システムの構築計画（案）
 今後の取組み（準備）について
 課題等について など



ワーキング会議の様子



市域の公共交通体系（イメージ図）



交通モード別輸送想定（適用）区分

1 協議事項

(1) 路線バスの変更及び廃止（案）について

他の自治体（交通会議）や運行事業者から，路線の変更及び廃止が次のとおり提案されています。

ア. (株)中国バス運行路線「田総の里西・太郎丸・上下駅前」他について

平成 21 年 12 月 17 日に開催された「庄原市地域公共交通会議」で協議・合意された広域路線の見直し（庄市第 243 号）について，三次市地域公共交通会議の回答を求められています。



【四者間協議】（庄原，府中，三次市及び(株)中国バス）
平成 22 年 2 月 5 日・平成 22 年 6 月 28 日

現状（変更前） 参考資料：平成 21 年 9 月，11 月利用調査表

運行系統			運行回数			キロ程	H21 乗車密度	H21 補助額 (三次市)	特記事項
起点	経由地	終点	平日	土曜	休日				
田総の里西	太郎丸	上下駅前	2.0	2.0	0.0	20.6	0.7 人	2,433 千円	通勤利用
上下駅前	田総の里	三良坂駅前	0.5	0.5	0.0	29.7	0.5 人	370 千円	
土居	田総の里	三良坂駅前	2.5	2.5	0.0	15.6	0.2 人	1,951 千円	

見直し計画（変更後）

運行系統			運行回数			キロ程	備考
起点	経由地	終点	平日	土曜	休日		
甲奴駅前	梶田別	太郎丸	1.0	1.0	0.0	9.1	・府中市への通勤で利用されている。
太郎丸	甲奴駅前	上下駅前	2.0	2.0	0.0	13.4	
上下駅前	田総の里	三良坂駅前	廃止				・本市単独での維持は不可能 ・三良坂町域ではデマンド交通が代替交通となる。
土居	田総の里	三良坂駅前	廃止				

現行での運行は年内に終了し，一部路線を短縮した「太郎丸・上下駅前間」のみの運行とします。

変更後の発着時刻は，現行どおり 別紙資料 5 とし，運賃についても同様とします。

また，路線廃止となる三良坂町域においては，路線廃止後約 1 年間をかけて状況を調査することとし，「ふれあいタクシーみらさか」の運行を含めた地域内交通のあり様を運営主体である三次広域商工会と一緒に検討していきます。

イ. 備北交通(株)運行路線「赤名線」について

運行事業者から、第2種生活路線「赤名線（赤名～三次中央病院）」を10月1日（金）から土曜日ダイヤを増便し、日・祝日を運休とする運行計画の変更が提案されています。**別紙資料6**

現状（変更前）

運行系統			運行回数			* _□ 程	H21 乗車密度	H21 補助額 (三次市)	特記事項
起点	経由地	終点	平日	土曜	休日				
赤名	布野三次駅	中央病院	4.0	2.0	2.0	33.7	1.8人	8,255千円	廃止代替

三次市分*_□程 28.4km 広島県との協調補助 863千円

見直し計画（変更後）

運行系統			運行回数			* _□ 程	備考
起点	経由地	終点	平日	土曜	休日		
赤名	布野三次駅	中央病院	4.0	4.0	0.0	33.7	・一畑バスの高速便（グランドアロー、みこと）が布野町域を縦断しており、代替移動交通として利用可能（ダイヤも充実している。） 参考資料 ：一畑バス時刻表

(2) 三次市民バスの一部変更（案）について

現行の利用状況や安全確保等にて次のとおり一部路線を変更します。

ア. 吉舎町線 A コースの一部ダイヤ変更(案)について

停留所	保健センター	蜂郷集会所	夕組集会所		三良坂駅		吉舎駅下		保健センター
(変更前)	7:50	8:10	8:15	...	8:35	...	9:02	...	9:14
(変更後)		8:10	8:15	...	8:35	...	9:02	...	9:14

現状は、保健センターから蜂郷集会所方面へ向けての利用はなく、非効率な路線設定となっています。

□ 始発を蜂郷集会所 8:10 に変更します。



3 その他

(1) 鉄軌道に関する取り組みについて

ア. 芸備線対策協議会の取り組みについて

平成22年度 県立広島大学地域課題解決研究の研究課題として「三次市を中心としたローカル線の利用促進に関する研究」と題して応募しています。

採用されず 平成22年7月14日 県立広島大学（経営企画室）

イ. 三江線活性化協議会の取り組みについて

日付	内 容
5月26日	平成22年度 地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画認定
同日	平成22年度 地域公共交通活性化・再生総合事業費補助金交付申請（12,000千円）
6月2日	三江線活性化協議会第3回連絡調整分科会
6月24日	三江線に関する地域公共交通総合連携計画策定調査企画提案競技選定委員会 □参加事業者 6社（株）シーズ総合政策研究所（島根県松江市）
7月1日	第1回三江線活性化協議会
8月3日	三江線活性化協議会第4回連絡調整分科会 □住民アンケート調査・・・作木町全戸 □住民ヒアリング・・・作木町住民（支所にてメンバー及び日時等調整中）